

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・各評価項目については、概ね達成できた。業務改善・教職員の働き方改革の推進など取り組みが不十分なところについては、より具体的な対策を考え改善できるように取り組んでいきたい。 ・学力の向上においては、取り組みの成果が出てきているので、継続して「表現できる場」を意図的に設定すると同時に、基礎学力の向上にも力を入れたい。 ・特別な支援が必要な生徒が通常学級に在籍している状況の中、生徒の実態により、個に応じた適切な対応についてなどが課題となっている。今後も関係機関や相談等他機関などとの連携を図りながら積極的な支援を行ってきたい。
------------------	---

2 学校教育目標	志と誇りを胸に、たくましく、心豊かに学び続ける生徒の育成 「行動」「協働」「感動」
----------	---

3 本年度の重点目標	I 確かな学力の育成 ⇒①「学力」を育成する教師の授業力の向上 ②「学び」をこれからの人生や社会に活かそうとする豊かな人間性の涵養 II たくましい体力の育成 ⇒①食育の充実と健康の保持増進 ②体力・運動能力の向上 III 思いやりの心の育成 ⇒①特別の教科道徳や人権・同和教育等心の教育の充実により、いじめを生まない土壌づくりと自他を大切に育む心の育成 ②ボランティア活動の充実とボランティア精神の育成 IV 生徒指導体制の充実 ⇒①開発的生徒指導を目指し、生徒の活躍の場を保障 ②自己指導能力の育成 ③未然防止、早期発見・早期対応、再発防止 V 保護者連携・小中連携 ⇒①積極的な情報発信 ②共に育てるという雰囲気醸成
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○授業における「つながり」の視点をもちにした指導・支援の充実	○学習アンケートにおいて、友人と協力して学習したことと理解が深まったと回答した生徒の割合が70%以上。	・各教科の授業において、少なくとも単元の中で1回は協働的な活動を実施する。							研究主任 学力向上コーディネーター
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳振り返りシートにおいて「意欲的参加できた」「考えを深めることができた」の項目でAが70%以上。 ○人権集会の感想において「自分ごととして捉えている生徒が70%を超える。」 ○肥前中教育についてのアンケートにおいて、「友人に優しく接している」と回答した生徒の割合が70%を超える。	・学年全体で道徳の教材研究、授業実践に取り組む。 ・いのちを考える週間を設定し、講話や道徳の授業等を行う。 ・年に1回以上、人権集会を実施する。							道徳教育推進教員 人権・同和教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止、対応についての共通理解を図り、覚悟時に組織的な対応ができていると回答した教職員の割合が80%以上	・開発的生徒指導を取り入れ、生徒に活躍・決定の場を与え、自己肯定感を育てる。 ・生徒指導部会での情報共有を充実させ、学年間で迅速に対応できる体制をつくる。 ・毎月生活アンケートを実施する。							生徒指導主事
	○児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれて、ありがとう」と回答した生徒70%以上。 ◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒70%以上	・じぶんログや振り返りシートの中で、一人一人の頑張りがよいところを認めるコメントを書き、自己肯定感を高める。 ・全生徒対象の教育相談を年に2回実施する。また、生活アンケートの中にSCとの面談の希望の有無を回答する欄を設ける。SCと情報共有を密に行う。 ・職業講話マナー講座等の外部人材を活用した講話を行う。							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	肥前中教育についてのアンケートにおいて、「自分の食事に対して関心がある」と回答した生徒の割合が80%以上	・年に2回、生活習慣アンケートの実施する。(運動・生活リズム・食事・安全について) ・毎日の健康観察を行い、自分の健康状態に気をつけるようにする。 ・食に関する取り組み(おにぎり弁当の日)を実施する。 ・生徒会の給食実践部の取組として、給食に使用されている食材について、情報を発信する。							食育担当
	○体力・運動能力の向上	○保健体育の授業の振り返りで「授業に積極的に取り組めた」と回答した生徒の割合が80%以上。	・体力テストを実施し、昨年の記録との差を確認し、ポイントが低い項目への対策を行う。							体育主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・毎週水曜日を定時退勤日とし、会議後は速やかに退勤するように声をかける。 ・長期休業中の積極的な年次取得を呼びかける。							管理職
	○メンタルヘルス対策	○「心のセルフチェックシステム」であまりストレスを抱えていないという結果の教員が7割以上。	・健康に関する情報提供やストレスチェックの実施、ライクアの充実を目指す。							管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育の推進、充実	○「特別支援教育の視点からの教育活動を実践できた」と回答した教員の割合が80%以上。	・特別支援教育についての研修会を年に1回以上実施する。 ・特別支援教育の視点からの教育活動の推進。							特別支援コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○開かれた学校づくり	○紙媒体による各種通信の発行及びホームページや情報配信アプリを活用した情報発信	○「学校は情報発信に努めている」と答える保護者の割合を80%以上にする。	・学級通信は毎月発行する。 ・必要に応じて、ホームページや情報配信アプリを活用し、情報を発信する。							情報推進リーダー 学年主任・学級担任 管理職
○小中連携の推進	○小中連携による共通理解と共通実践	○生徒アンケートにおいて肥前中は小学校と連携して、生活・学習習慣づくりを進めていると思うと回答する生徒の割合が70%以上。	・年に2回、小中合同研修会を実施し、情報共有や課題の共有を図る。 ・肥前中校区教育研究会の充実を図る。							管理職 各部会担当

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------